

体ノ加入ヲ禁ムル旨ク發表シ既ニ成立セル日本特殊鋼從業員
同志會ヲ積極的ニ否認スル態度ニ定テタルタメ痛ク同會員ノ
感情ヲ刺戟シタル點ニアルヲ以テ會社ニシテ飽迄其ノ態度ヲ
緩和スルニアラスンバ本格的爭議ニ發展スル虞アルヲ以テ所
轄大森署ニアリテハ特ニ軍需品工場タル性質ニ鑑ミ極力事態
ノ悪化ヲ防止センガ爲メ會社側ニ對シ熟考シ促スト共ニ地方
組合幹部ニ對シテモ蔽ニ行動ヲ慎ム様成告ニ引續キ勞資ノ動
靜ヲ注視中

右及申(通)報候也

別記
日本特殊鋼從業員諸君

永シ明我々の特望し止まずなかつた同志會が從業員
の総福と絶大的支持の元盛衰なる發層式を舉行し
たかどありませ。在從業員諸君は固然會社には甚々
の組織を來すと知るや此の一劃値上を發教したのどあり
勿論從業員の會社のやり方は此の貸銀値上も當然ニ重賃
銀の形に於て再び甚々ト勞働強化と成つて轉化された
事は又と見るより明である。然し而テ諸君何政會社ハ此の
邊中に不意に貸銀値上を爲したか。其は在從業員の結集を
恐れたカウに有る。吾々は發層化したれは成らぬ。尙多この懸念
業を持つて居るのである。在從業員諸君會社には益に甚々を
危慮思想にかふれた者として登壇して居る。然し乍ら同志諸
君我々は決して團體を無視した破壊的思想を持つ者がない
日本の團體に立脚して非常時國民としての健康と産業發揚
者として出極保證を叫ぶ外他意が無いのであります